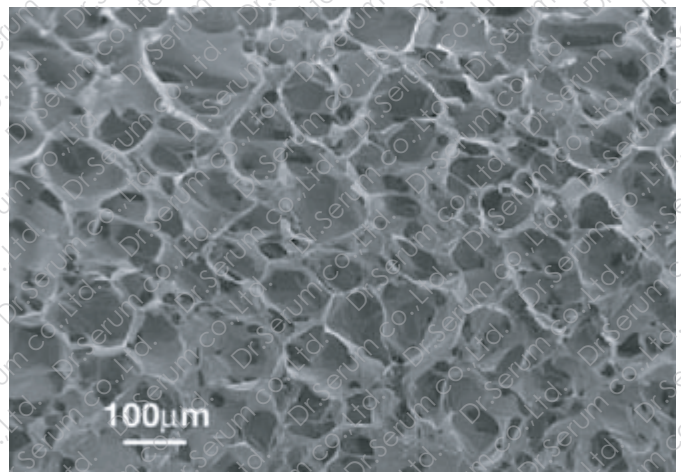
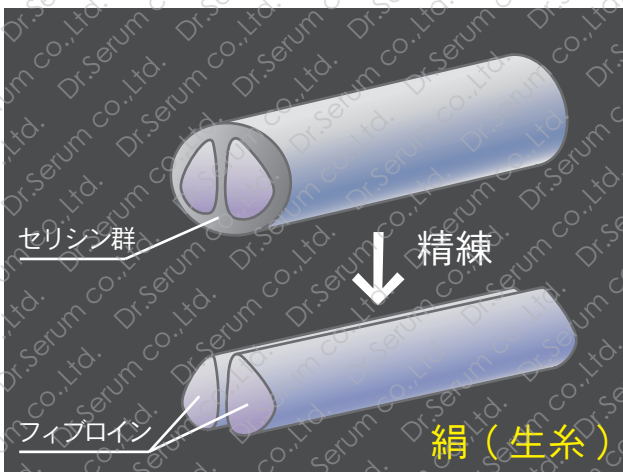


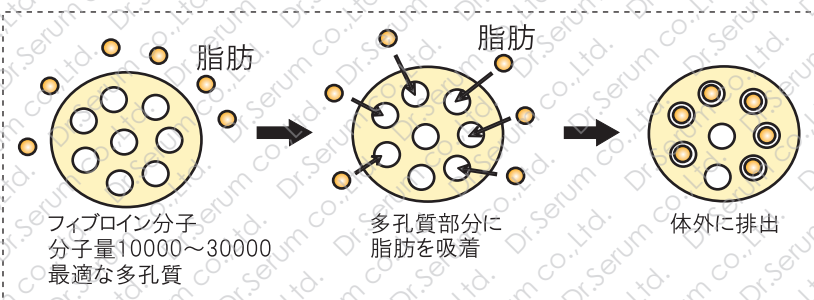
＋脂肪吸着素材「シルクフィブロイン」 製法特許：第4074923号

シルクフィブロインはシルクに含まれるフィブロインタパクのみを特殊な製法により抽出したものです。シルクフィブロインは吸脂性多孔質を持ち、体内の余分なコレステロール、脂肪を吸着し乳化した状態で体外に排出します。21世紀の医療技術としても注目されているナノ技術と、蚕の力から生まれたこれまでにない蛋白質で、東京農薬大学 農学博士 長島孝行氏と弊社との共同研究の末、食品としての開発に成功した新素材です。

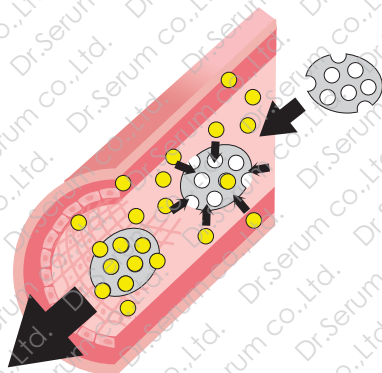


東京農薬大学 長島博士研究室より

●ナノレベル微細構造のメカニズムを図式化したもの



小さな穴がいくつもあいている蛋白質の分子を多孔質分子といい、シルクフィブロインタパクもこれに近いと予想される。この複雑な領域に脂肪やコレステロールが吸着され、それが離れることなく体外へ運ばれると考えられる。



- = シルクフィブロイン
- = 脂肪吸着後のシルクフィブロイン
- = 脂肪

※イメージ図

